



トピック指向CMS「MadCap」

多言語オンラインマニュアル(PDF/HTML)をワンソースで作成



トピック指向CMSの基本的構成

madcap
FLARE[™]

インポート

- Word
- HTML
- CHM
- FrameMaker etc..

オーサリング

- XML/HTMLエディタ
- スタイルシートエディタ
- プレビュー機能

コンテンツ管理

- コンテンツ管理
(再利用)
- 変数、条件分け
- スニペット

パブリッシュ

- HTML5
- PDF
- CHM
- Word

madcap
LINGO[™] 翻訳支援・管理

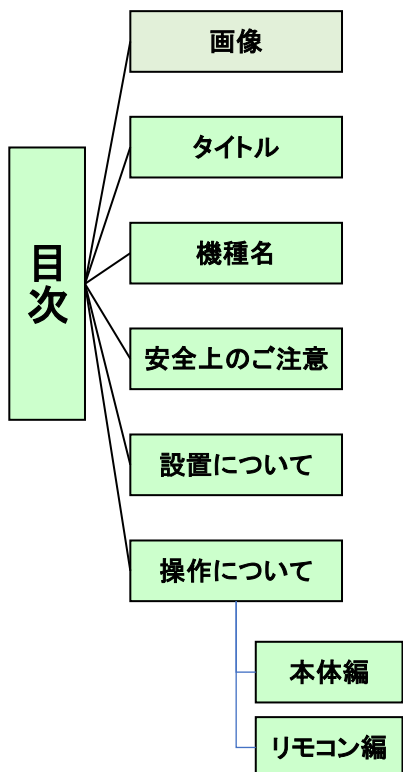
madcap
CONTRIBUTOR[™] チェック・校正



ブラウザでのドキュメント編集、複数ユーザ同時作業、
バージョン管理(クラウド版Git)、AI連携

文書を構成する要素

コンテンツ（トピック単位）
XML/HTMLファイル、画像、動画



レイアウト設定
CSS、設定ファイル

PDF用

スタイルシート (CSS)
・フォント、配置等

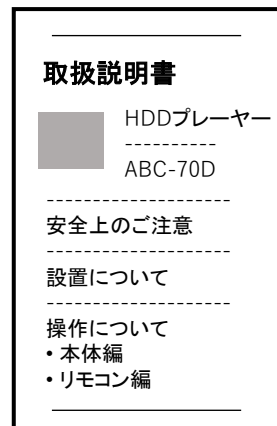
テンプレート設定
・ヘッダー、フッター等

HTML用

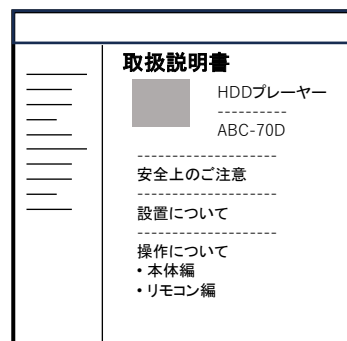
スタイルシート (CSS)
・フォント、配置等

テンプレート設定
・ヘッダー、左ナビ等

PDF



HTML





MadCap Flare Online

MadCapをCMSとして使用するために、Flare(コンテンツ作成・管理・出力)、Gitサーバ、Lingo (多言語翻訳) がパッケージされたライセンス。

クラウドシステム：ブラウザでのドキュメント編集、Flareデータバックアップ(Git)、バージョン管理(Git)、複数人での共同作業(Git)、アクセス解析、サイトホスティング、AI連携



オーサリング、コンテンツ管理、出力



多言語翻訳CATツール、翻訳差分抽出、Xliffエクスポート/インポート

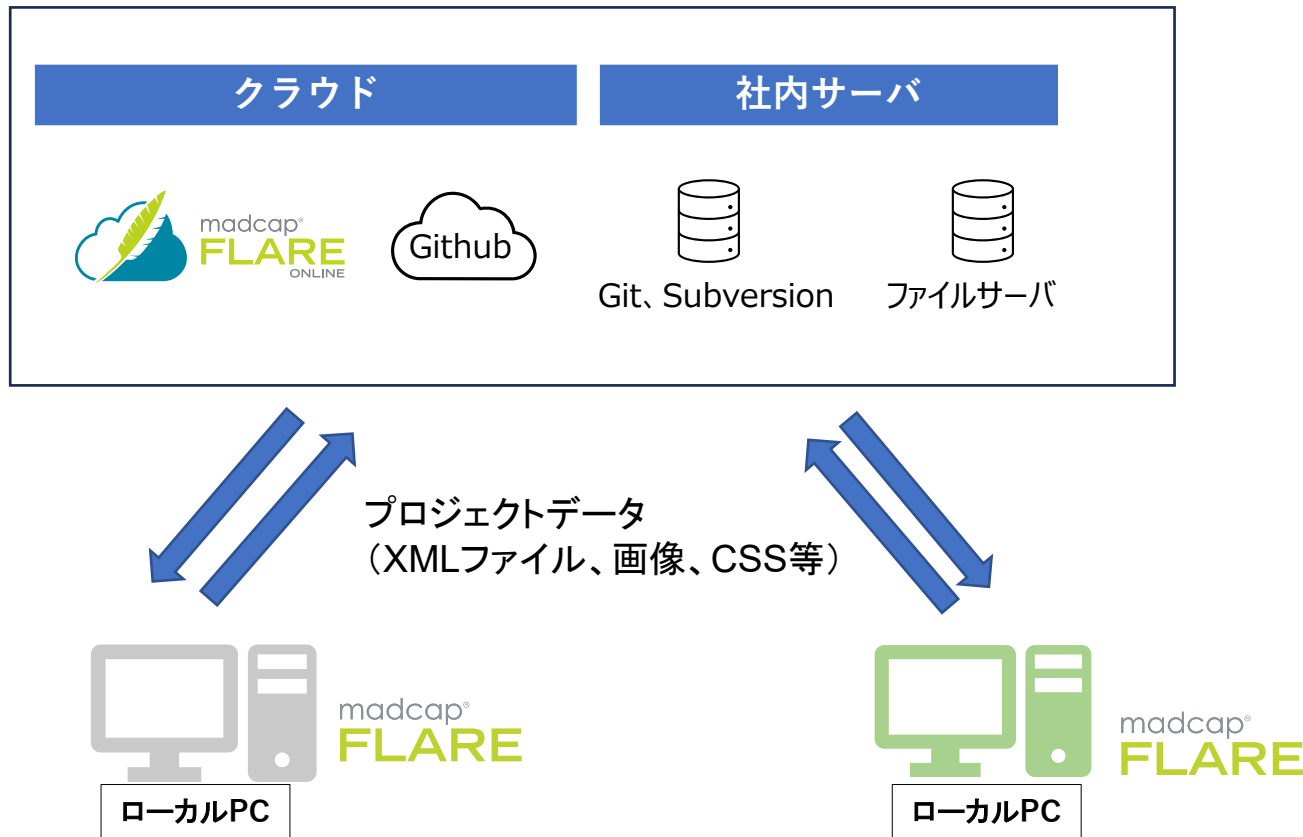
※MadCap Flare単体での購入も可能です。

Flareによる協同作業

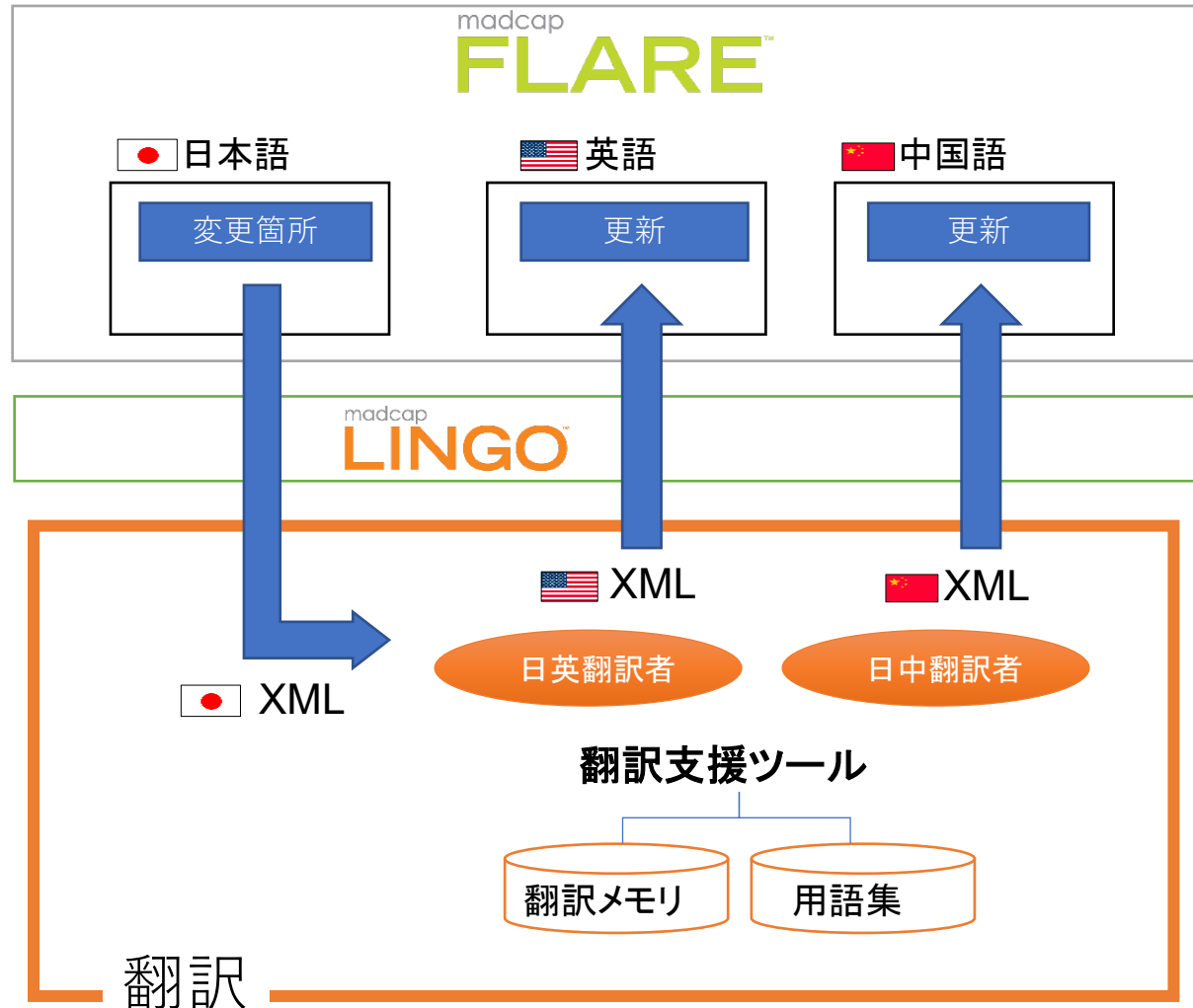
データベースを使ったCMSではないため、少人数の利用ではサーバは必須ではない。

多数での同時作業の管理には、Git等のバージョン管理システムが必要。

MadCapのクラウド版GitサーバとしてMadCap Central が利用可能。



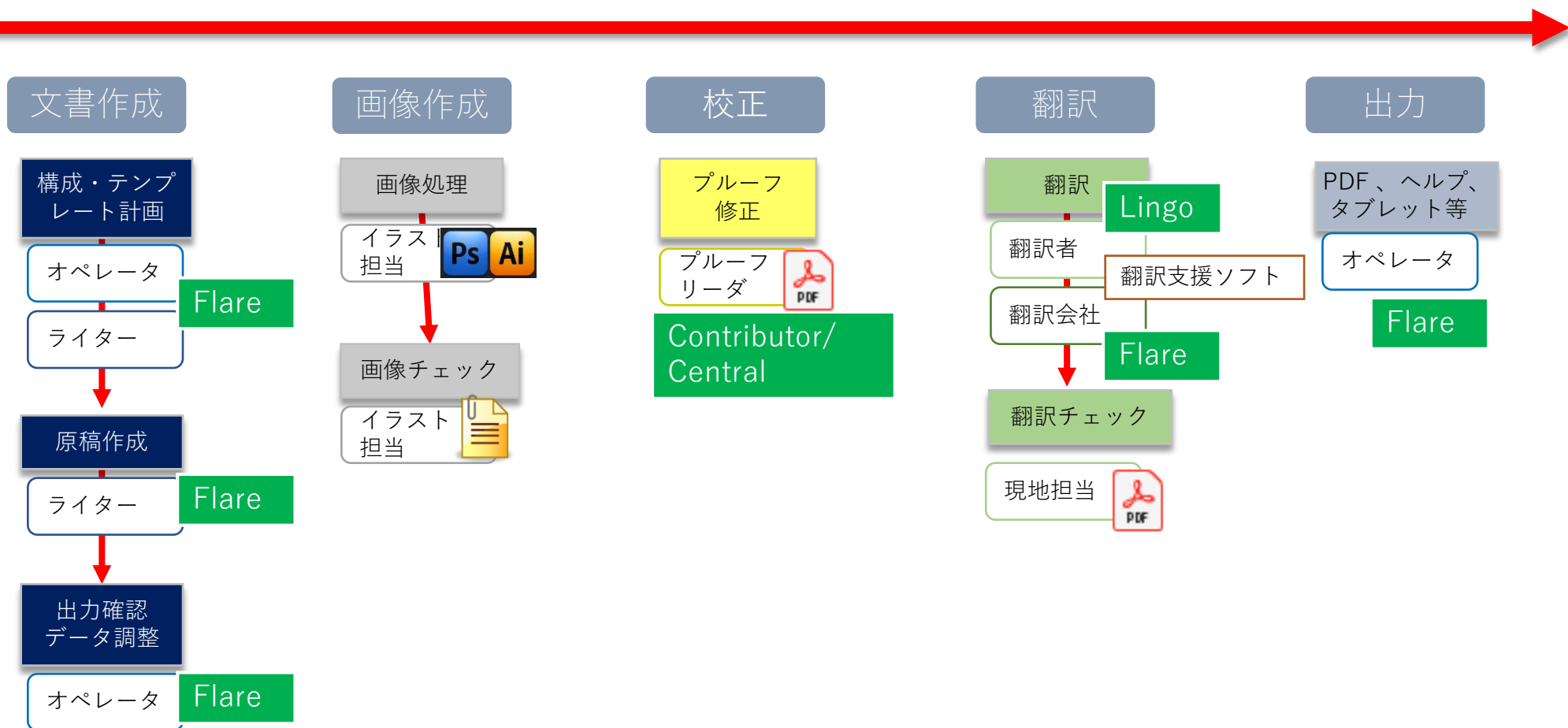
ローカライズ管理機能



原文の変更箇所のみを
MadCap LINGOで抽出

翻訳者がCATツール（翻訳支
援ツール）を使って翻訳。
翻訳メモリと用語集を活用・
蓄積。

翻訳済みXMLをLINGOにイン
ポート。ドキュメントに反映。

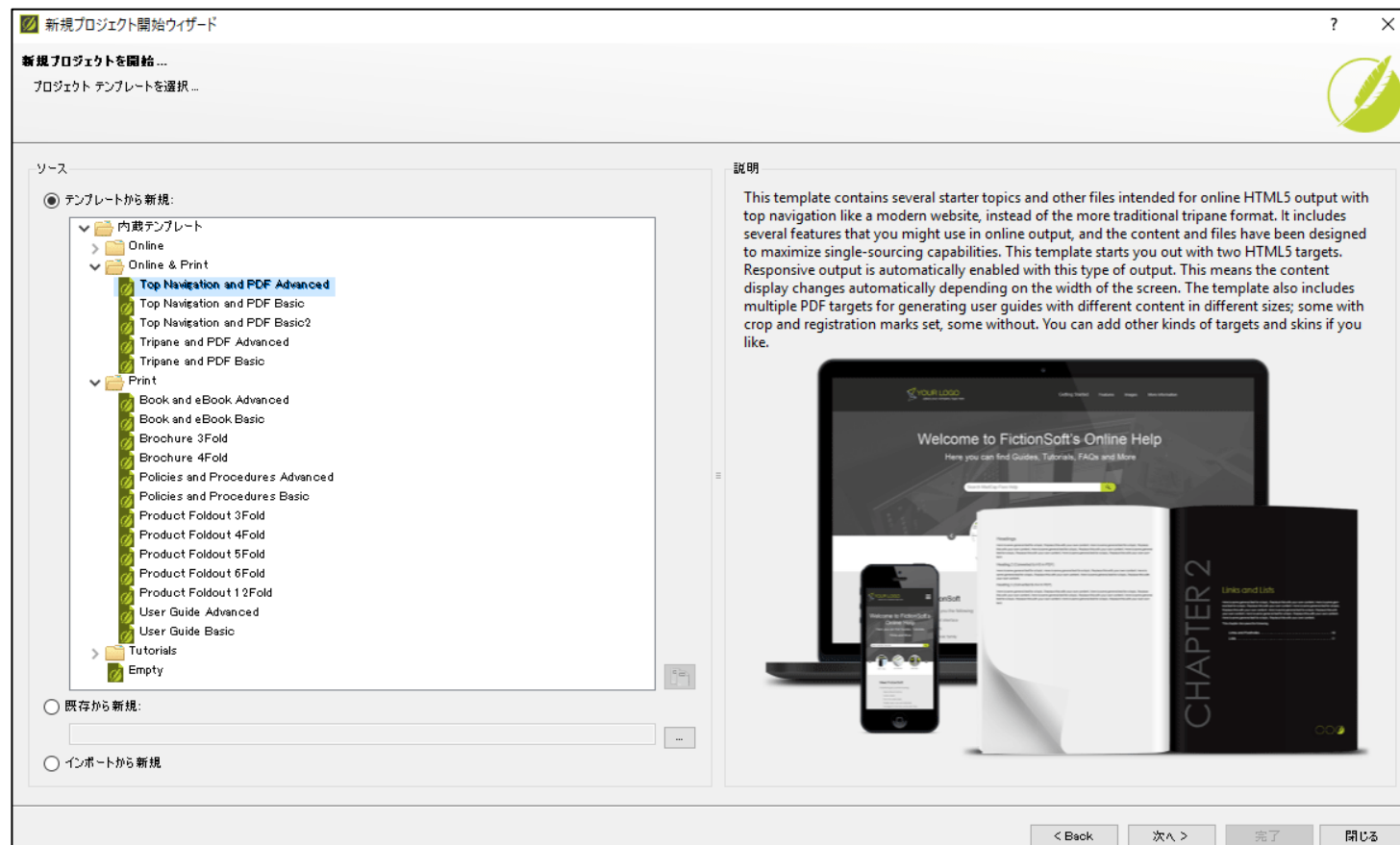


他のCMSと比較したMadCapの特長

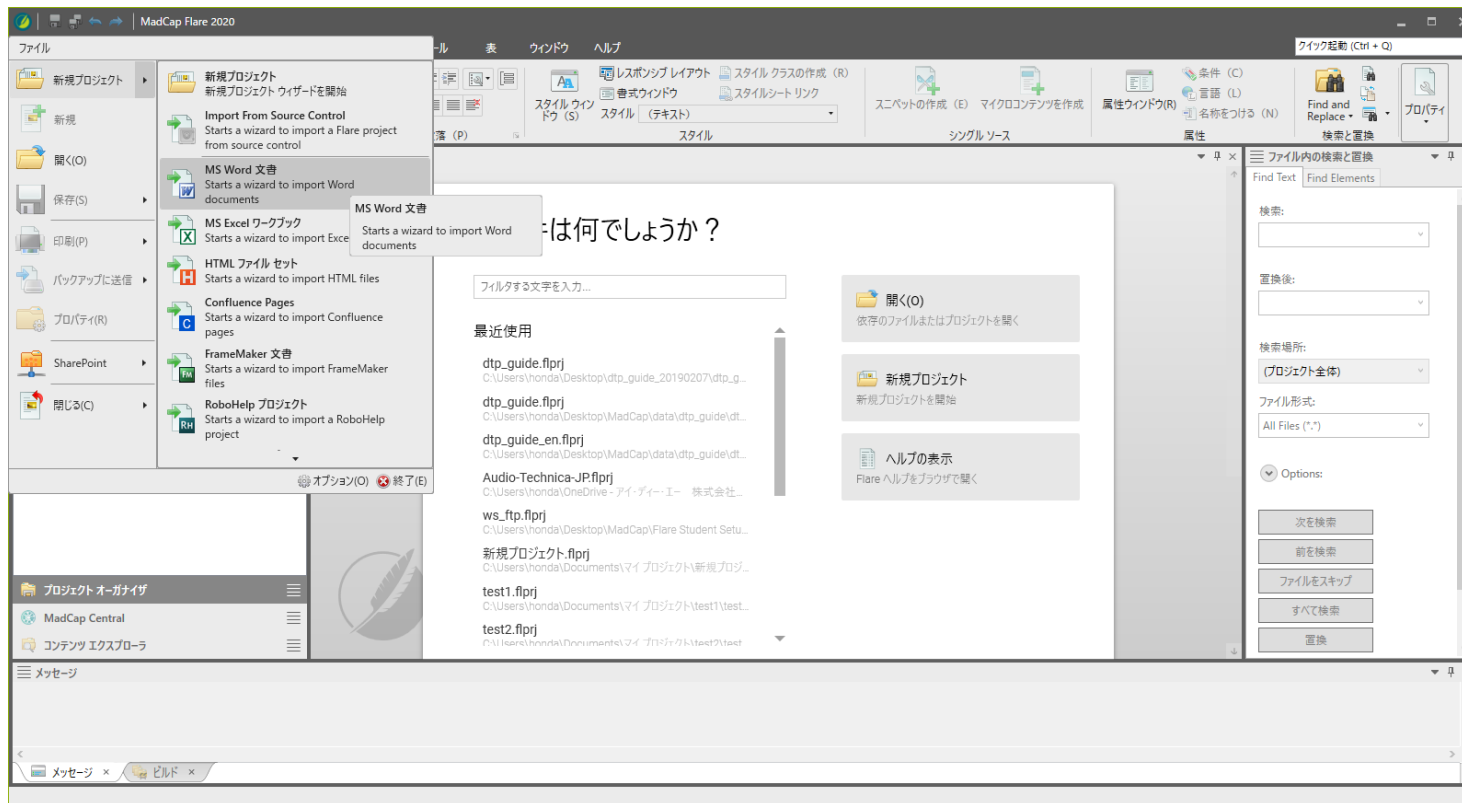
- データ形式が、XHTMLとCSSのため、カスタマイズの自由度が高く、コストが低い。
- 必ずしもサーバを必要としないため、インフラ管理の負担が小さい。
- 構造化は必須ではないため、既存のマニュアルのコンテンツを大幅に変える必要が無い。
- ライセンスの単価が安く、少人数から低コストでの導入が可能
- オンライン用の出力テンプレートが複数用意されており、カスタマイズも容易。
- 動画の追加、関連コンテンツの表示、状況依存ヘルプ、開閉式コンテンツなど、HTMLの機能が充実。

ユーザ規模	1人から利用可能
トピックのデータ形式	XML (XHTML)
印刷用テンプレート	CSS
オンライン用テンプレート	CSSでカスタマイズ可能なレスポンシブテンプレート
ローカライズ方法	ツールを経由してXMLをCATツールで翻訳。改訂時は差分のみ抽出可能。
レビュー方法	エディターの校正機能、オンラインレビューツール、または出力PDFに赤入れ
再利用	トピックの共有、再利用。ワンソースマルチアウトプット
履歴、バージョン管理	ソースコントロール（MadCap Central、Git等）を利用

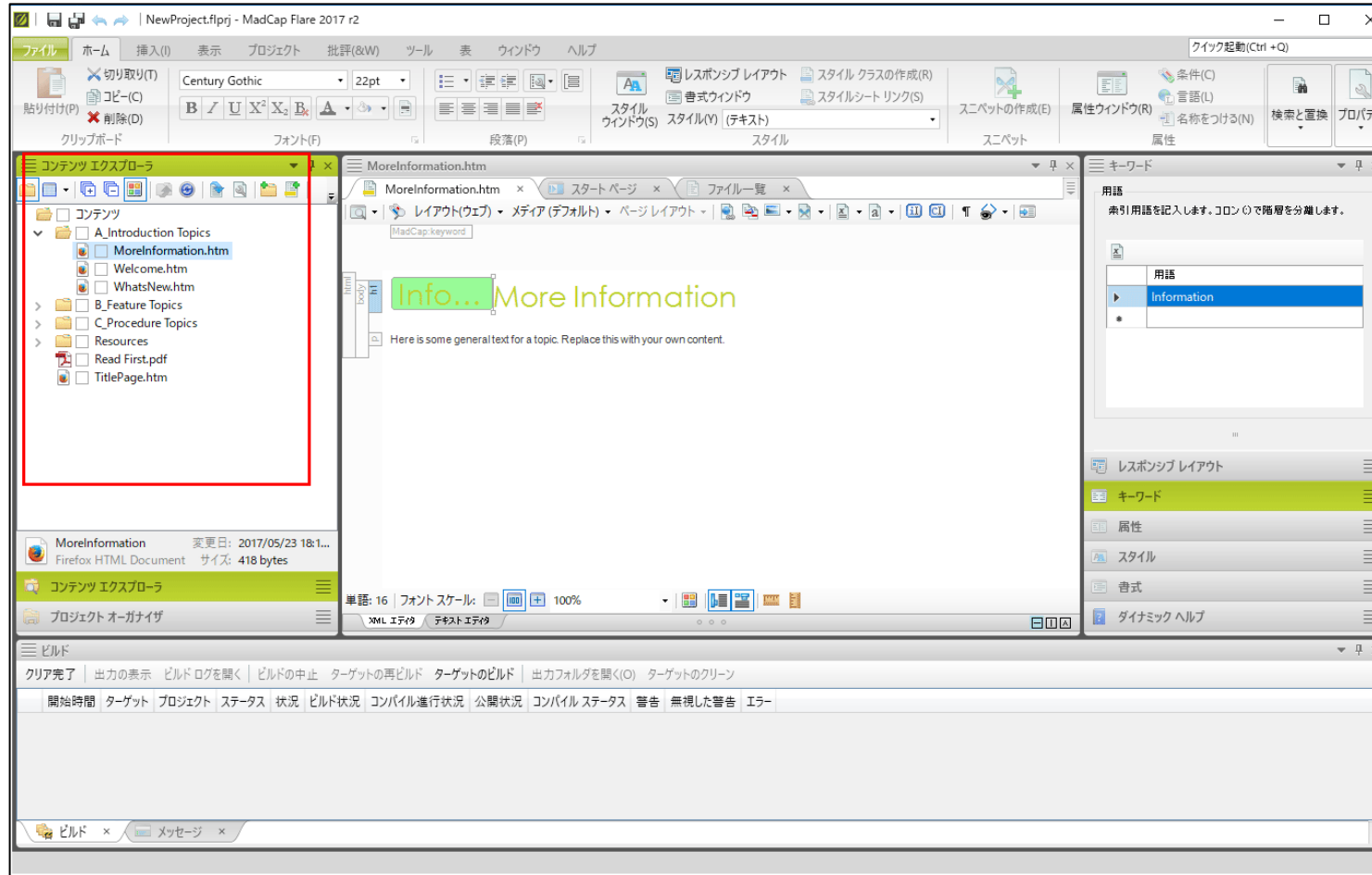
MadCap Flare デモ



オンライン、モバイル、印刷向けなど用途応じて、ワンソースから複数メディアへの出力が可能なテンプレートがあらかじめ25種類登録。

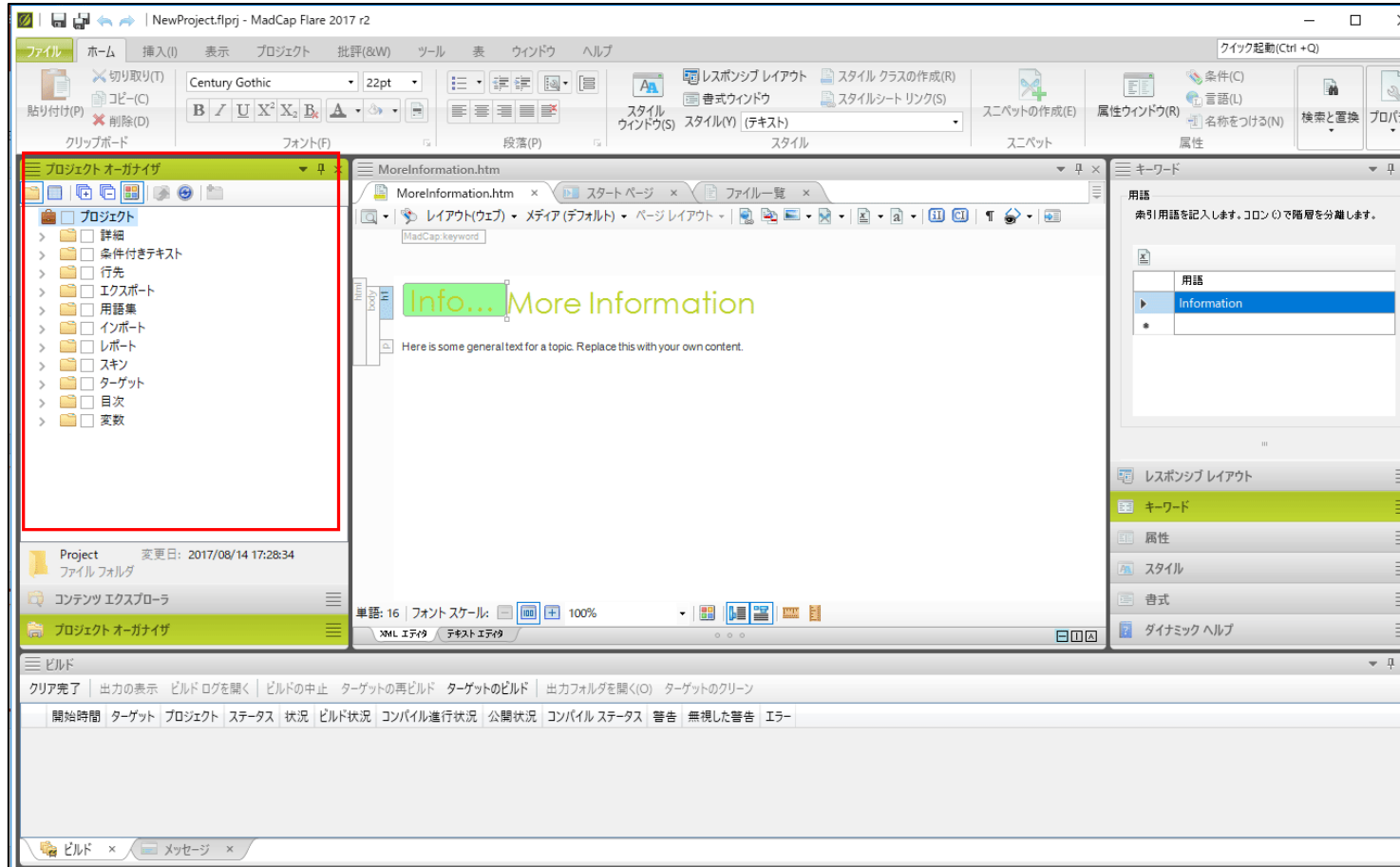


Word、HTML、ヘルプなど
既存のドキュメントを
MadCap Flareにインポート
できます。

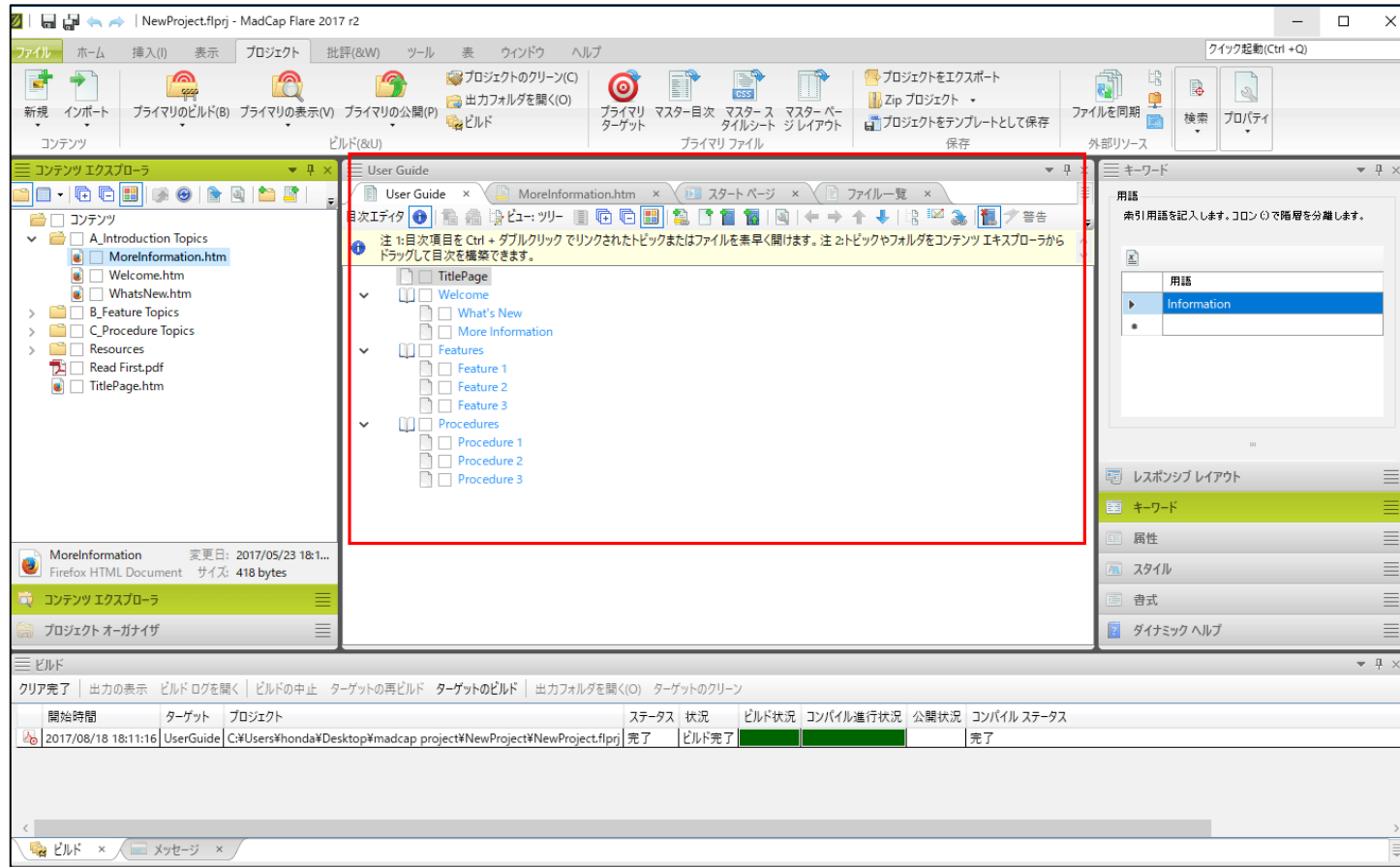


html、CSS、画像を管理
するフォルダをツリー表
示。
選択したファイルをエ
ディターで編集。

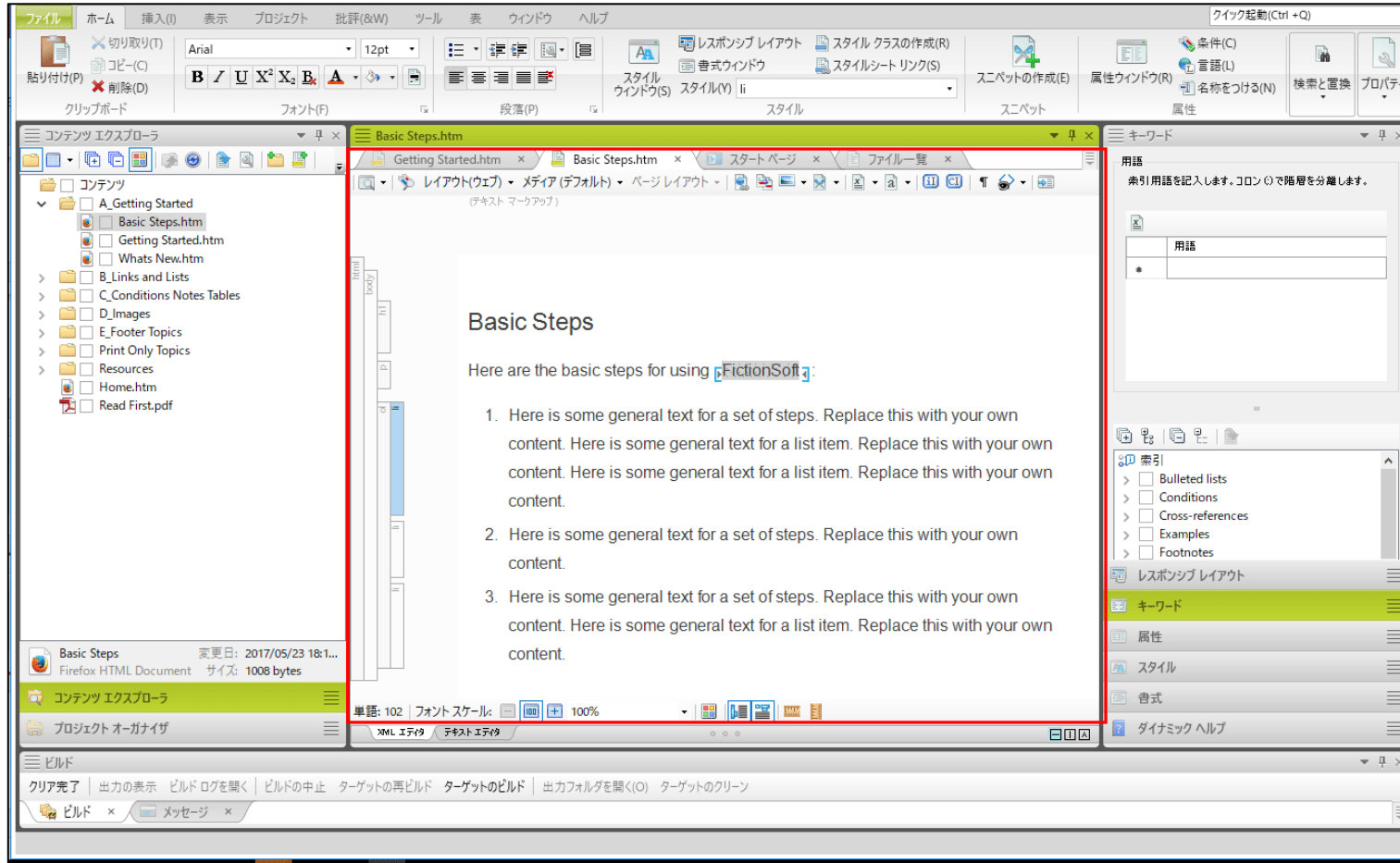
※各エディター・パネル
は、表示・非表示、配置
を自由に変更することが
可能。



パブリッシュの形式や、
テンプレート、変数、目
次などの設定を管理。



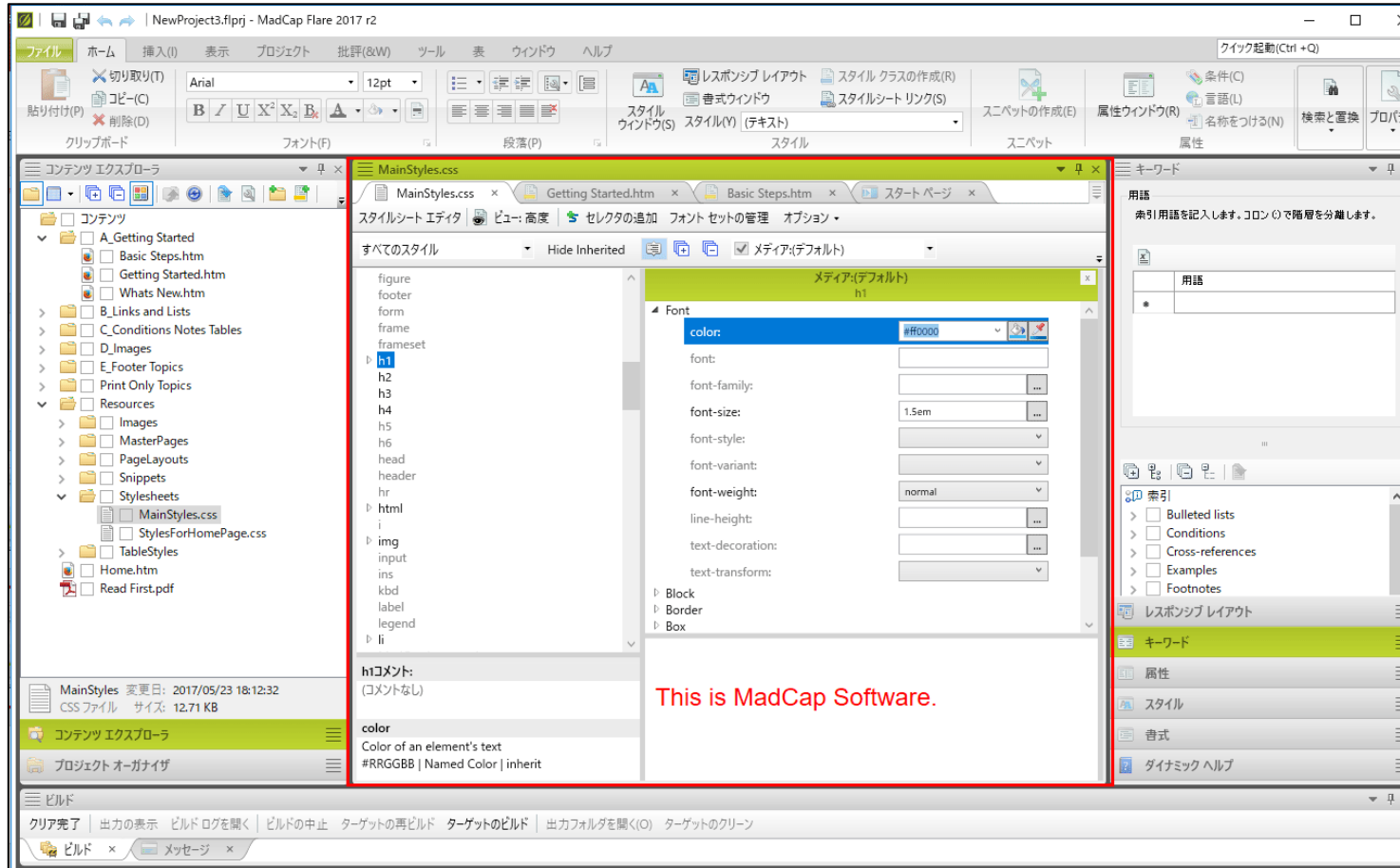
ドキュメントの並び順、階層を決定する目次はTOCエディターで編集。目次から各ファイルを直接開くことも可能。



HTMLの知識が無くても編集可能なエディター。タグの単位で、左に帯が表示される。

帯を選択して、スタイルを適用したり、帯をドラッグしてコンテンツの場所を入れ替えたりが可能で使いやすい。（米国で特許取得）

テキストエディタに切り替えて、直接HTMLタグを編集することも可能。



書式は、スタイルシート（CSS）で設定。
XMLエディター上で右クリックすれば、そのタグのCSSが表示され、編集が可能。

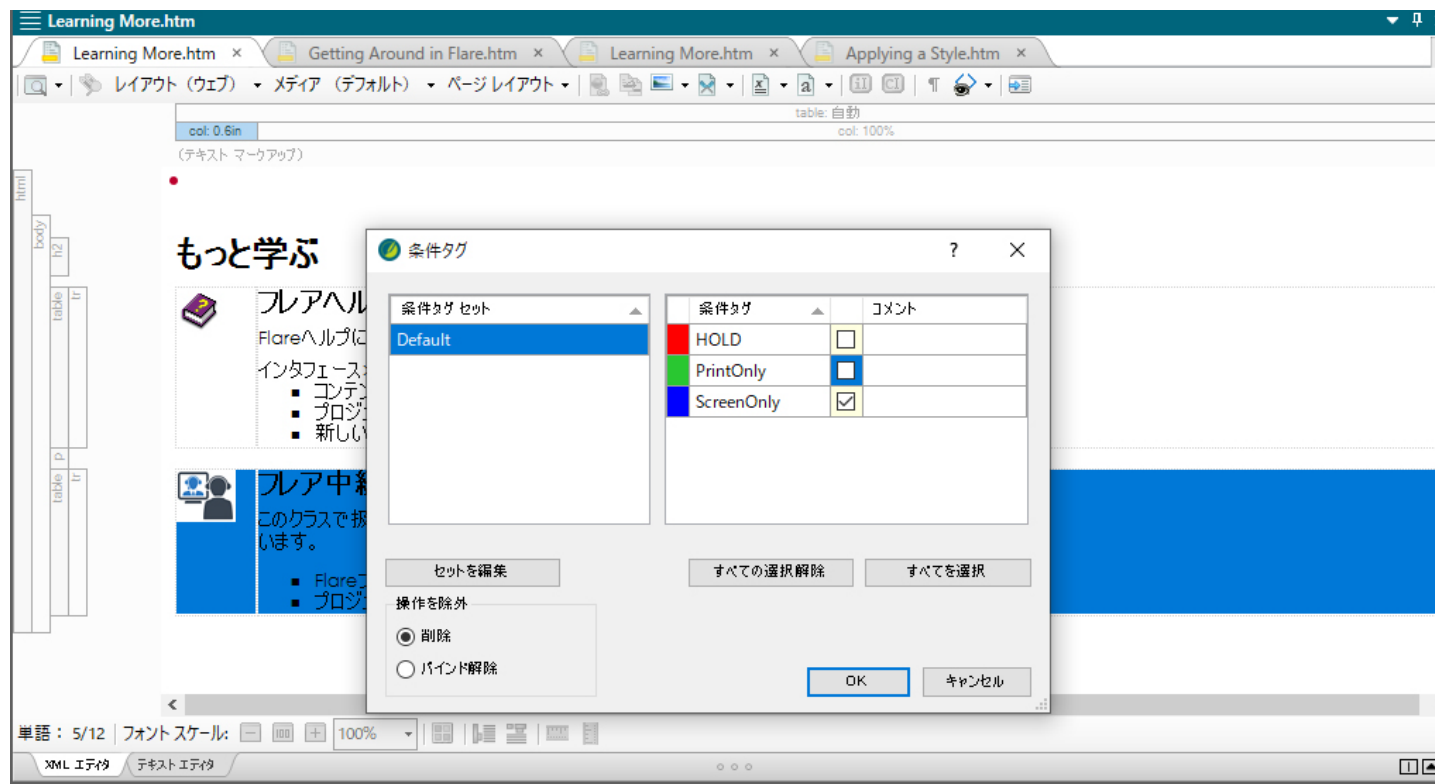
エディターにより、CSSを理解していなくても視覚的にスタイルを編集することが可能。
テキストエディタで、直接CSSのソースを編集することもできる。

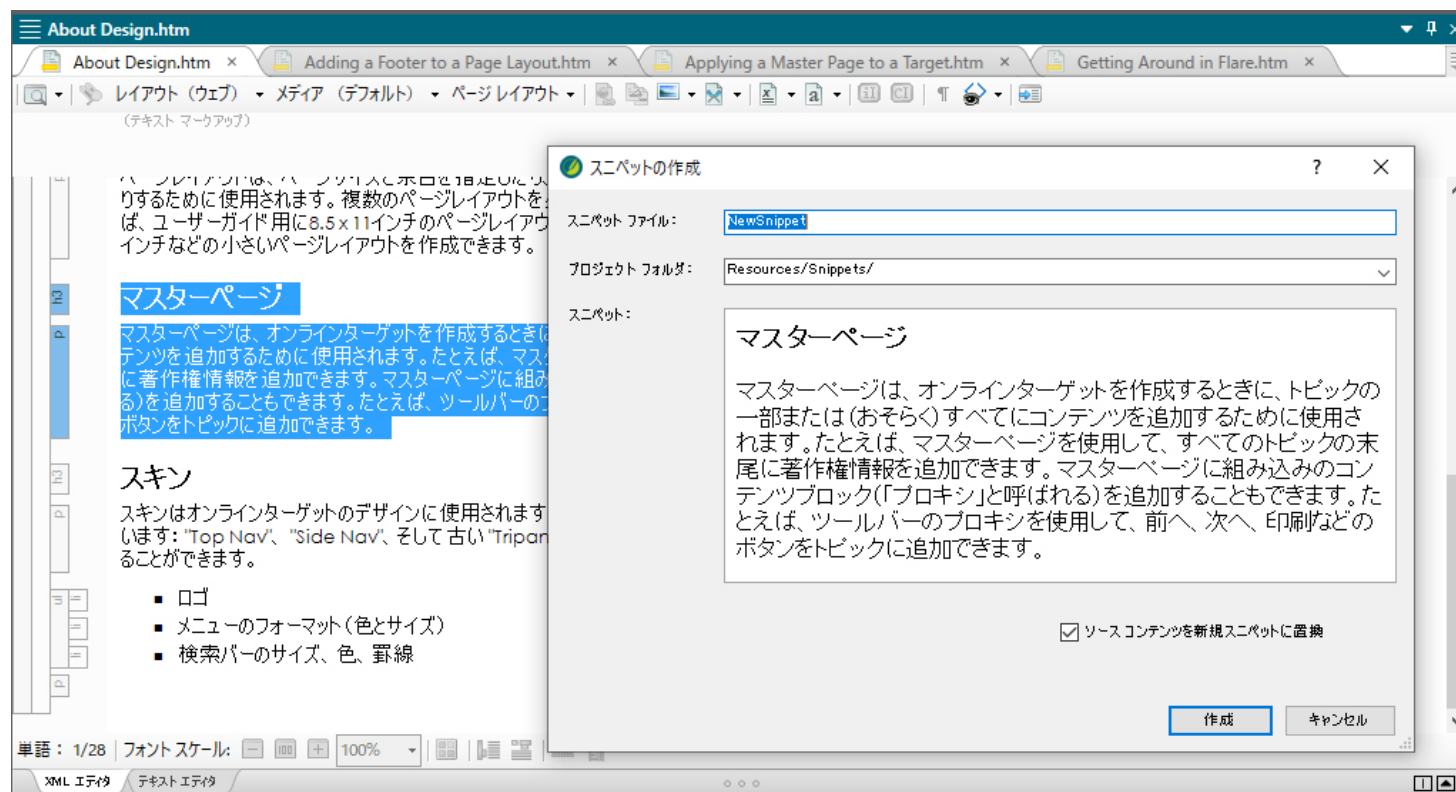
条件タグ

段落、トピック、画像など、それぞれに対して、任意の基準で条件付け。

出力する形式によって、表示/非表示を切り替えて、内容を出し分けることが出来る。

固有名詞の違いなどには、変数も利用可能。



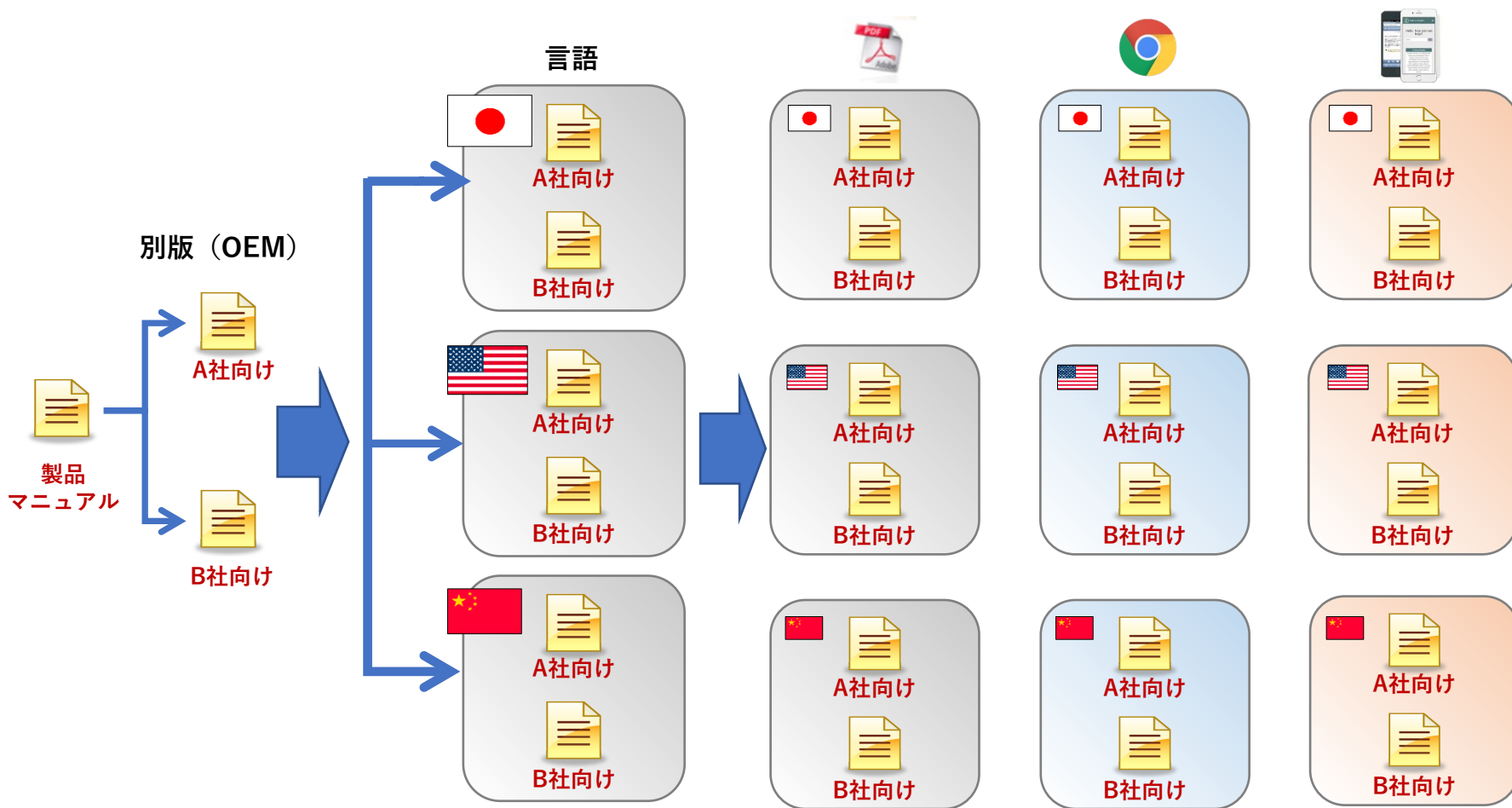


ドキュメント内やドキュメント間で共通するコンテンツをスニペットとして独立したトピックにできる。

ドラッグアンドドロップでトピック内に埋め込むことで再利用が可能。

CMSが必要となる背景

ドキュメントのバリエーションが増加し従来のDTPでは管理できない



CMS導入で期待できるメリット

コスト削減

- 制作時のDTP費用の削減
- 再利用による、コンテンツ作成時間の短縮
- 再利用による翻訳費用の削減
- 改定、修正作業の効率化

品質の向上

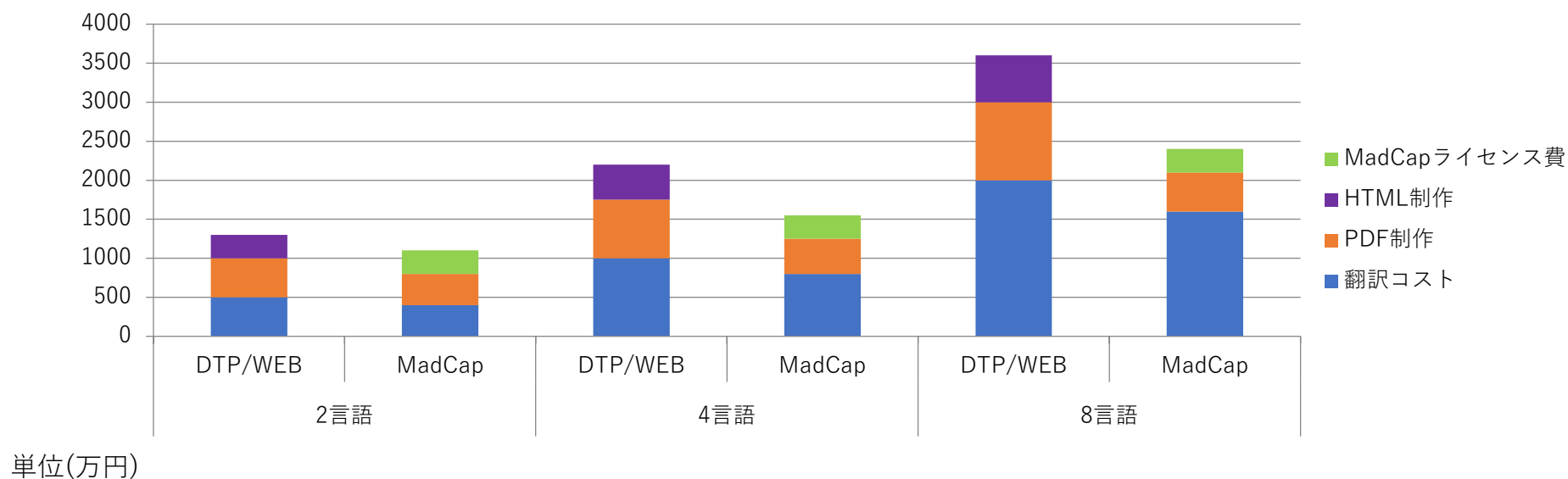
- 再利用による、文章表現の統一
- テンプレートによる、レイアウトの標準化
- 改定漏れの防止

新しく生まれる価値

- 製品情報の市場への早期リリース
- オンライン・モバイル向けのヘルプ
- 言語展開の拡大（新言語への対応）

導入のコストメリットの例

従来のDTPとMadCap (5ユーザー利用)の言語数別年間費用の比較



CMS導入にあたって検討すべき事項の例

1. データ移行の範囲・方法
2. 作成者の体制・スキル・役割分担
3. ドキュメントの標準化レイアウト
4. 出力メディアの検討
5. テンプレートパターンの検討
6. 再利用範囲の検討
7. 変数の設計
8. 対象言語の確定
9. ユーザ権限の検討
10. サンプルデータ作成

CMS導入のコストとリスク

ソフトウェア価格例

	A社製品	MadCap (5ユーザーの一例)
初年度	1000万	300万
次年度以降	300万	300万

リスク⇒うまく使いこなせるか？

- 初期導入費用は抑えたい
- 導入サポートが重要

サポート

単なるソフトウェアサポートでなく、ローカライズ、ドキュメント制作まで含めた経験と、ノウハウを持っていることが重要。

データ構造の設計 > 既存ドキュメントの移行 > 運用体制までのサポート

製品マニュアル30P～200P、11言語、PDF/HTML（CCMS導入支援、テンプレートデザイン、設計、運用サポート、既存データ移行、マニュアル制作、翻訳）

✓ソフトウェアマニュアル

✓約1500P（日英中）PDF/HTML MadCapデータ制作（CCMS導入支援、テンプレートデザイン、設計、運用サポート、既存データ移行、マニュアル制作）

主な導入実績



その他の実績とケーススタディ

<http://www.madcapsoftware.com/company/customer-list.aspx>

実績、機能、価格等より詳しい情報は、

MadCapオフィシャルサイト

<http://www.madcapsoftware.com/>

MadCapオンラインヘルプ

<http://www.madcapsoftware.com/support/online-help.aspx>

❖ アイ・ディー・エー株式会社 (ida Corporation)

- 1997年設立 (大阪本社・東京オフィス)
- 専門分野の翻訳から多言語への展開
- 多言語カタログ・マニュアル制作
- 多言語WEBサイトの構築・運営サービスの提供
- Author-it/MadCapの販売・導入コンサルティング

<https://www.idanet.co.jp/>

